

## 第2回協働ルール検討会議 議事録

と き 平成13年3月2日(金) 13時30分～16時20分  
ところ 大和市役所分庁舎第2・3会議室  
参加者 14名(全委員)  
林座長 河崎副座長 石間委員 市村委員 伊藤委員 内海委員  
越後屋委員 大幡委員 岡田委員 小林委員 中村委員  
林克之委員 平塚委員 渡邊委員  
事務局：幟川市民活動課長他3名 市職員9名

### 議事要旨

#### 全体の流れ

まず、学識経験者委員2名のレクチャーがあり、次に市民活動団体実態調査の報告がありました。休憩をはさんで、市民活動や協働に関する意見交換と部会の役割や進め方についての議論がありました。後半(休憩後)はワークショップ形式で行われ、最後にまとめの報告がありました。

#### 決定・確認事項

今後の議論の進め方として、それぞれの委員の考え・主張を具体的にぶつけあうなかで、共通して流れるルールを求めていくことが確認されました。

また、委員の自由参加による第1回部会を、4/6(金)13:30から開催することが決まり、今後の進め方等について検討することとなりました。

以下、議事内容 進行は林座長

開会：13時30分

幟川市民活動課長から、議事の順序変更(次第2.報告事項を最後)の説明があり、事務局以外に参加した市職員9名の自己紹介がありました。

#### 内海委員レクチャー

- ・内海委員から「市民参加に関わる条例等の全国的な動き」というテーマで、主な住民参加・市民参加条例の紹介や、パートナーシップ条例の動き、また、協働(パートナーシップ)に必要な要素、についてのレクチャーがありました。【詳細は別紙参照】

## 林泰義委員レクチャー

- ・林泰義委員から、「みんなでホイッ!2」(玉川まちづくりハウスの活動記録)の内容紹介の後、「まちづくりNPOと行政のパートナーシップ」の要素や課題、またアメリカの仕組みなどについてレクチャーがありました。【詳細は別紙参照】

## 市民活動団体実態調査の報告

- ・渡辺委員(調査受託先のNPO法人かながわ環境教育研究会代表)から、実態調査の概要やポイントについて、説明がありました。

休憩：15時10～20分

## 議題1 レクチャー、実態調査報告を題材とした意見交換

### 議論の概要

#### **・めざす協働ルールの範囲や対象について**

この会議の目的である協働ルールについて、その範囲や対象などを中心に意見交換が行われました。また、今後の議論の進め方として、観念的な内容で話を進めるのではなく、それぞれの委員の考え・主張を具体的にぶつけあうなかで、共通して流れるルールを求めていくことが確認されました。

#### **・ポストイットの意見について**

ポストイットに書かれた各委員の意見は、具体的に検討する時間がなかったため、内容を事務局が座長と相談のうえ整理し、次回報告を行うことで確認されました。

### 議論の詳細

- ・座長：意見交換を始めるが、発言以外にも意見をポストイットにどんどん記入してほしい。時間が足りないようであれば、次回もこの続きをやりたい。
- ・委員：街づくりの分野には「みんなの街づくり条例」があるが、分野別の条例の大もとの条例をつくるのか。住民代表の議会との関係は問題ないのか。協働ルールの対象は、サークルなどの仲間うちの活動というよりは、社会的・公益的な活動が中心となると思うが。

どのような範囲でどのようなルールづくりを行うのか、という基本的な枠組みについても、この場で議論をお願いしたい。

- ・委員：レクチャーで例に出したような「まちづくり市民会議」のような行政システムまでも変えるような仕組みとなると、議会とのすみわけも考える必要があるだろうが、そのような協働ルールを定めた条例はまだない。また、協働の範囲を広い意味でのまちづ

- くりとし、理念的な内容だけではなく行政と市民との関係を変えていけるルールを考えるならば、レクチャー資料の「パートナーシップ条例」を基本に「市民参加条例」「理念的な条例」を加える、というようなイメージが考えられる。
- ・委員：協働の対象は広く考える必要はあるが、実態調査の結果からみて、ポイントは公益的な活動にある。また、仲間うちの活動団体の1/3程度が、公益的な活動に関わる意思がある、という点も重要。
  - ・委員：「協働の理念」と「市民のまちづくりへの参加」との関係整理に迷っている。協働ルールでくくると、市民参加・まちづくりはちょっと違うかな、という感じである。「市民のまちづくりへの参加」については、市民が主体的に参加するだけでなく「知る」ということもある。これは「情報公開条例」があるが、大和市がどのようにまちづくりを進めていくか、ということは、協働ルールとは違うように思う。
  - ・委員：協働ルールのひろがりによって、すべての住民がまちづくりに参加できるような大和市をめざしたい。今は、イベントや交流事業でも、住民の参加が十分とはいえない。
  - ・座長：協働の議論では、市民と行政が強調されるが、企業も重要。
  - ・委員：理念的な話が先行しているが、大和市の縦長の市域特性から、地域性を考えるべきではないか。FM やまとの例などを通じて、地域によって関心事が異なることを実感している。また、市境などは他市との連携も必要。
  - ・委員：議論が漠然としていて理解しにくい。
  - ・座長：これから具体的な議論をしていく。
  - ・委員：地域特性まで追求していくと視点が広がりすぎてしまって難しいのではないかと。どこまでやるのかきちんと確認していく必要がある。
  - ・座長：観念的に議論を進めていくよりは、具体的な活動を手がかりにして、共通して流れていくものをとらえていった方がいい。
  - ・委員：NPO と市民・行政の関係という視点から、公共サービスのあり方とNPO という役割分担のテーマがある。そして、市民と行政との関係という視点からは、行政のあり方を整理しなければならない。また、NPO も公益的な活動ばかりをしているわけではなく、そのように考えていくと、話がどんどん大きくなる。ある程度枠組み的なものは整理が必要だと思う。
  - ・委員：総合学習が2002年から始まる。教科書問題もあり、教育に関するルールづくりが早急に必要だと考える。部会単位で分野別に議論したい。
  - ・委員：大和に生まれ育って33年、まちへの愛着がある。協働ルールがまちのためになるよう頑張りたい。
  - ・座長：時間の関係で十分な意見交換ができない。ポストイットに書かれた意見については、次回までに事務局と相談して整理し、報告するので了承したい。

## 議題2 部会について

### 議論の概要

#### ・第1回部会の開催について

委員の自由参加による第1回部会を、4/6(金)13:30から開催することが決まりました。

### 議論の詳細

- ・座長：部会のあり方について確認したい。時間的な制約もあるので、条例の枠組みを検討する部分と、具体的な議論をしながら条例に盛り込んでいく内容を検討する部分の2つに分けてもいいようにも思うが。
- ・委員：形式的には、コンスタントに参加することができるメンバーを決めて、それ以外の委員は自由参加という形がいいと思う。内容的には、部会では検討はするが、決定するのはこの検討会議の場、という形がいいと思う。
- ・委員：条例の素案づくりだけのための部会か、それ以外の足りない部分も検討していく部会か、という点を確認する必要がある。
- ・座長：部会でやった方が進めやすい内容もあるだろう。例えば、「公共の場の利用」などに関する内容は、大和市は、施策レベルですでにNPOへの支援が始まっているようなので、部会で関連する行政職員を交えて進めた方が話が早いのでは。
- ・委員：行政とNPOとの関係も、現実にはいろいろ問題がある。例えば、しらかしの家はみどり財団が管理しているが、行政と財団とボランティアとの関係がきちんと整理されているのか。財団については、どのように考えていくのか。
- ・委員：部会の役割や性格をまずきちんと確認しないと、部会員も決めにくいのではないかと。
- ・座長：委員の間で、まず自分が思っていることを出し合う、というのがポイントになるのではないかと。条例の形式的な枠組みについては並行して進めていけばよい。
- ・委員：単純に考えて、まず条例の骨子を固めて、市民参加のための内容を整理しながら、理念的なものを加えていけばいいのではないかと。
- ・座長：枠組みのグループと、想いをぶつけるグループに分けていくべきか。
- ・委員：話はわかるが、具体的な意見は今のところ特にない。
- ・座長：自分の活動の都合から、大切だと思うことをぶつけるようなイメージでいいと思う。
- ・委員：まず1回部会を開いてみたらどうか。参加できる委員が集まって、今後の進め方を話し合えばいいと思う。

- ・委員：この場で、基本的な部分は決定しておいた方がいいのでは。条例の枠組みに関する部会と想いをぶつける部会の2つの部会で検討を進め、内容の決定は、この検討会議で行う、など。
- ・座長：まずお試し部会という感じで、1度部会を開くことにしたいと思うがどうか。なるべく多くの委員が参加し議論すればよい。

各委員了承し、第1回部会を4月6日（金）13:30から開催することに決定

### 議論のまとめ

今回の意見交換は、ワークショップ形式で行いました。市職員2名（北島さん、高橋さん）がサポート役となり、委員の発言をポストイットに記入し、委員自身が意見を記入したものとあわせてグルーピングを行い、意見の傾向をまとめました。

その結果、次の6つにグルーピングされました。【詳細は別紙参照】

「協働のルールづくりの範囲（対象）について」

「協働のルールづくりを進めるうえでの提案」

「市民と行政（議会）の関係」

「会議の進め方」

「提案」

「その他クエスチョン」

### その他

#### ・事務局から連絡事項

\* 2/26に、どこでもコミュニティに「市民活動と行政の協働コミュニティ」をオープンしたので、委員の方々にも積極的な発言をお願いしたい。

\* 委員連絡用のメーリングリストを立ち上げるので、メールアドレスの登録について了承願いたい。

#### ・日程確認

\* 第3回協働ルール検討会議：4月19日（木）14時～

\* 第4回協働ルール検討会議：5月21日（月）午後 or 23日（水）午後

\* 第1回部会：4月6日（金）13時30分～

閉会：16時20分

（記録者：市民活動課 井東）